

2010年度後期民法第二部試験問題

2011年1月31日

次のⅠⅡの両方の問題に答えなさい。解答の順番は問いません。配点は一応の目安で調整を経て最終得点とします。

I Aは、友人Bに自分の所有する自転車甲を貸していたところ、2010年1月10日深夜、Bが出町柳駅付近で氏名不詳の男Cに甲を強奪された。Bは被害届を警察に出した。2011年1月5日、Bは、百万遍付近で甲に乗っていた女Dを発見して追跡し、Dがあるアパートの駐輪場に甲を駐車したのを確認し、Aに連絡した。

問(1) AやBは、Dに黙って甲を取り戻すことができるか。仮にBがDに黙って甲を取り戻した場合、逆にDはBに甲の返還を請求できるか(30点)。

問(2) AとBがDに事情を聞いたところ、Dは、2010年3月末に卒業した友人Eから1000円で甲を買い受けたが、Eがどこからどうして甲を手に入れたのかは知らない、と述べた。AやBは、Dから甲の返還を無条件に請求できるか、それともDの支払った1000円はDに支払ってやる必要があるか。条文の根拠を示して論じなさい(30点)。

II 次のうちA群とB群から各1つを選んで説明しなさい。各説明は5～10行程度を目安として書いて下さい(20点×2)。各群から2つ以上選択したり、合計3つ以上解答すれば全部無効として採点しませんので、よく考えて選んでから解答して下さい。

A群

- (1) 背信的悪意者
- (2) 法律行為の取消しと登記

B群

- (3) 抵当権の付従性
- (4) 集合動産譲渡担保